

この家の サクセス ポイント

豊かな自然の力を借りて 丈夫で健康的な住まいをつくる

大気汚染や温暖化現象など私たちが取り巻く環境は少しずつ変化しています。そんな現代でも自然の力を借りて快適な住まいをつくることはまだまだ可能なくば、というのが加藤さんの家づくりに対する基本的な考え方です。幸い、周囲には自然の残る豊かな田園地帯にあるMさん宅。この環境を生かし、ナチュラルで健康的な家をつくろうというところから、加藤さんはプランを始めました。道路に面した南側には庭とデッキを取り、引きこみ式の大木製サツシで家の中と外に一体感を創出。ここから入った風は各部屋北側の窓から抜け、夏でもエアコンに頼らない生活を可能にしました。同時に庭には落葉樹を植え、季節によってデッキに差し込む日差しを調整します。この庭木、春には新緑、秋は木の实と紅葉で季節の移り変わりを楽しく感じさせてくれるそう。

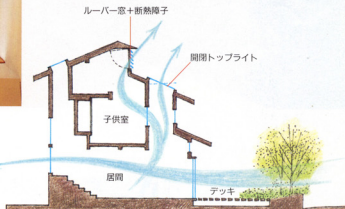
また室内にはサワラのフローリングとベイトマツ、ヒノキの構造材を使用し、ムクダの木の調湿効果でからった空間をつくりました。壁にははがさず上から塗装ができ、燃やしても有害物質を発生しない布クロスを採用。基礎はベタ基礎、基礎パッキンを土台との間に入れ、床下換気も確保。躯体にはTIP構法（Pilot）（参照）を採用し、特殊な技術や金物に頼らず、地震に強い住まいを実現しています。



POINT A

家中タテにもヨコにも風の通り道をつくりました

（上）フルオープンにできる南側の大きな開口部から入った風は、北側に取ったルーバー窓から抜けます。また、吹き抜けは上部に天窓を取り、1階と小催裏の温度差を利用してそこから熱気を排出する、というヒートシステムとしても計画されています。2階居室もこの吹き抜けとつなげ（左）、ここにもタテの空気の流れをつくりました



4²¹世紀の家づくりは

丈夫で安心

高耐久・耐震 環境共生 健康素材

21st CENTURY

Mさん宅の

DATA

敷地面積/165.62㎡(50.19坪)
 床面積/120.63㎡(36.55坪)
 1階/76.12㎡(23.06坪)
 2階/44.51㎡(13.49坪)
 用途地域/無指定
 建ぺい率/70%
 容積率/240%
 構造/木造軸組工法

工事費内訳表(単位円)

仮設工事	1,185,000
基礎工事	1,834,000
木工事	9,974,000
屋根・板金工事	1,164,000
金属建具	1,135,000
木製建具	1,575,000
ガラス工事	431,000
左官工事	944,000
タイル工事	80,000
塗装工事	390,000
内装工事	616,000
舗工事	548,000
電気工事	1,272,000
給排水・衛生設備工事	2,409,000
運搬・諸経費	2,049,000
消費税(5%)	1,280,000

工事費計.....**26,886,000**
 3.3㎡単価.....**736,000**

■別途費用

外構・門扉・デッキ	1,917,000
造園	1,000,000
造り付け家具	1,486,000
システムキッチン	799,000
照明器具	411,000
冷暖房機器	804,000
ブラインド	372,000
設計・監理料別途

総合計.....33,675,000

★予算/自己資金、住宅金融公庫
 契約/平成10年11月
 竣工/平成11年6月

■主な設備機器
 キッチン/クリナップ
 洗面ボウル/INAX
 浴槽/INAX
 便器/INAX
 サッシ/トステム、旭硝子

■設計/加藤武志(加藤武志建築設計室)
 〒272-0035 千葉県市川市新田5-3-3
 電話047(322)2132
 工学院大学建築学科卒、50歳



■施工/御溝新 現場監督・植口健一
 〒168-0062 東京都杉並区方南1-46-7
 電話03(3323)3323

ロフト

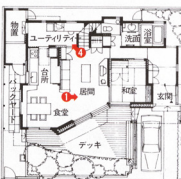


POINT B 下地板を斜め張りして強度をアップのTIP構法

この構法は外壁仕上げの下地板を、筋交いとたすき掛けになるよう斜め45度に張る、というもの。これにより筋交いや火打ち梁だけに頼らず、家全体で地震や暴風の強靭に耐えられるようにできます。従来の木造軸組工法の良さを生かしながら、コストも1%程度のアップで済むそう。元東京工芸大学教授の西秀夫氏が開発し、現在日本TIP建築協会が普及をはかっています



2F



1F



POINT C 深い軒は建物を風雨から守ってくれます

1200と深くした軒は外壁に直接、雨が当たるのを防いでくれます。この他、家の耐久性をアップするため、ベタ基礎、基礎パッキンによる床下換気、軒先に換気口を設けた屋根換気などを採用しています



最近ではすっかり見かけなくなり
 ましたが、昔、蟬帳というものがあ
 りました。これは食べ物を常温保存
 する時、ハエがたかるのを防ぐため
 金網や細かい網を張った入れ物。M
 さん宅ではキッチン収納にこれを復
 活させ、冷蔵庫に入れる必要のない
 お菓子などを置いています。

昔懐かしい
 蟬張つき収納で
 食品を常温保存

MY
**GOOD
 PLAN**